

【アメリカ】日系人強制収容所跡の国立公園化

コロラド州グラナダにあったアマチ収容所は、1942年2月19日にルーズベルト（Franklin D. Roosevelt）大統領が発出した大統領令第9066号の下で第二次世界大戦中に設置された10箇所の日系人強制収容所の1つである。同収容所には1942年から1945年までの間に1万人以上が収容され、その3分の2は米国民であった。同収容所跡は、1994年、国の歴史登録財（National Register of Historic Places）に登録され、2006年には国定歴史建造物等（National Historic Landmark）に指定されている。同収容所跡は従来地元自治体グラナダが所有しており、地元高校教員が設立した、生徒ボランティアからなるアマチ保存会が管理運営している。

2022年3月18日、バイデン（Joe Biden）大統領は、アマチ収容所跡を国立公園（National Park）に指定する「アマチ国定史跡法（Amache National Historic Site Act）」（P.L.117-106）に署名した。同法は、第2次世界大戦中のアマチでの日系民間人の収容及び被収容者による軍役等に関連する史料を現在及び将来世代のために保護・保存し、解説することを目的に、国立公園制度の一部としてアマチ国定史跡を設置する（第3条(a)(b)）。同史跡は、公園を構成するに足る土地又は土地に関する権利の取得が完了したと連邦内務長官が判断するまで設置されず（同(c)）、この判断の後30日以内に連邦官報に設置の公示がなされるものとする（同(d)）。同長官による土地の取得は寄付のみにより行われる（同(f)）。同長官は、アマチ国定史跡の管理計画を策定するものとし（同(h)）、この法律を実施するために官民の他機関と協定を締結することができる（同(j)）。

海外立法情報調査室・ローラー ミカ

- <https://www.doi.gov/pressreleases/president-biden-designates-amache-national-historic-site-americas-newest-national-park>
- <https://www.congress.gov/117/plaws/publ106/PLAW-117publ106.pdf>

【アメリカ】ミネタ元連邦運輸長官の名を連邦ビルに冠する法律の制定

2022年5月6日、バイデン（Joe Biden）大統領は、同月3日死去したミネタ（Norman Yoshio Mineta）元連邦運輸長官などを称え、その名をワシントンD.C.の連邦運輸省本部ビルに冠する「ウィリアム・T・コールマン・ジュニア及びノーマン・Y・ミネタ運輸省本部法」（P.L.117-117）に署名した。2021年4月に連邦議会上院で可決されていたフォード（Gerald R. Ford）政権下で連邦運輸長官を務め、公民権分野の著名な法律家であったコールマン氏（William T. Coleman, Jr.）の名を冠するとの法案について、2022年3月、同氏とミネタ氏双方の名を冠するとする修正案を下院が可決、同4月に上院がこれに同意していた。

ミネタ氏は、連邦議会上院議員を20年余り務めた後、クリントン（William J. Clinton）政権で連邦商務長官に就任、ブッシュ（George W. Bush）政権で連邦運輸長官を2001年から2006年まで務めた。同氏は1931年カリフォルニア州で生まれた日系2世であり、第2次世界大戦中はワイオミング州ハートマウンテンの日系人収容所に強制収容された。バイデン大統領は、ミネタ氏を悼む声明の中で、同氏がアジア系米国人初の主要都市（サンノゼ）市長であり、初の連邦政府閣僚であったこと、日系人強制収容の誤りを認めて補償を行った「1988年市民の自由法」（P.L.100-383）の連邦議会通過に尽力したこと、民主党と共和党両方の政権で閣僚を務めるなど党派を超えて尊敬を集めていたことを称えた。

海外立法情報調査室・ローラー ミカ

- <https://www.congress.gov/117/plaws/publ117/PLAW-117publ117.pdf>
- <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2022/05/06/statement-from-president-joe-biden-on-the-william-t-coleman-jr-and-norman-y-mineta-federal-building-act-and-passing-of-norman-mineta/>

【アメリカ】「フレッド・コレマツの日」の制定を求める下院決議案の提出

2022年2月3日、マーク・タカノ（Mark Takano）下院議員（民主党、カリフォルニア第41選挙区）は、「フレッド・コレマツの日（Fred Korematsu Day of Civil Liberties and the Constitution）」

（1月30日）の全米レベルでの制定を求める下院決議案第906号（H.Res.906）を提出した。2022年6月現在、この決議案は採択に至っていない。

フレッド・コレマツ（Fred Korematsu、是松豊三郎）氏は、1919年1月30日生まれの日系米国人であり（2005年3月30日没）、第二次世界大戦時の強制収容を経験した。戦時中から戦後にかけて、強制収容の不当性を訴える活動を継続し、1998年には、功績を評価されて大統領自由勲章（Presidential Medal of Freedom）を受章した。また、米国同時多発テロ事件（2001年9月11日）の後には、ムスリム系市民の権利擁護を求めるなど、市民的自由に関わる幅広い活動にも携わった。

タカノ議員の決議案は、フランクリン・ルーズベルト（Franklin Roosevelt）大統領が日系米国人の強制収容を命じる大統領令（1942年2月19日署名、第9066号）を発令したことや、コレマツ氏が強制収容の不当性を訴えて連邦政府を提訴（1944年は敗訴したが、1983年に勝訴）したことなどを振り返った上で、コレマツ氏の功績を顕彰し、また、非常時に市民的自由を擁護することの重要性を指摘した。加えて、既に幾つかの州（カリフォルニア州、フロリダ州、ハワイ州、バージニア州、アリゾナ州）が「フレッド・コレマツの日」を制定したことを紹介した上で、全米レベルにおいても「フレッド・コレマツの日」を制定することが重要であるとした。

海外立法情報課・西住 祐亮

- ・ <https://www.congress.gov/bill/117th-congress/house-resolution/906?q=%7B%22search%22%3A%5B%22korematsu%22%2C%22korematsu%22%5D%7D&r=3&s=1>
- ・ <https://korematuoinstitute.org/what-is-fred-korematsu-day/>